

第44回「議員と語りかい」報告書

3班 (No.1)

開催日	令和 6年 2月 9日 19時 00分 ~ 20時 30分		
開催場所	牧園総合支所 会議室1・2		
団体名	個人参加 (牧園・霧島地区)	参加人員	7人 (男 5人 : 女 2人)
出席議員	前田 幸一、松枝 正浩、鈴木 てるみ、山口 仁美、木野田 誠、池田 綱雄		
役割分担	班 長 (前田 幸一) 副班長 (松枝 正浩) 記録係 (鈴木 てるみ)		
テーマ及び具体的な内容	10年後の地域づくり、幸福度の高いまちへ		

意見交換での主な話題等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	<p>・ 3班に分かれ、参加者の地域を思う構想を聞いた</p> <p>ホタルの保存について</p> <p>◆堂山地区は、ホタルが数千匹乱舞し、その時期になると多くの観光客や県内外から見学に訪れる。ホタルが生息している約100mの土側溝は、片側の側面が崩壊状態にあり、三面水路に変えるとのことだが、それではホタルが生息できなくなる可能性がある。工事の手法を変えて、ホタルと共存できる計画にできないか。</p> <p>◇委員会の所管事務調査を検討し地域の宝の保全ができるよう努力したい。</p>

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

移動手段について

◆住民の買い物、病院等の移動が不便である。霧島の別荘地もますます過疎化が進んでいく、なんとかしてほしい。また、空港からのアクセスも悪く、観光客、インバウンド客にとっても移動手段が少ない。これでは旅行客から霧島市は選択してもらえないのではないか。

◇移動支援については市内全域の問題である。国のライドシェアの議論もあるが、まずは本市のMワゴンの広域化を推進していきたい。

◆民間バスが路線を廃止してから移動が非常に困難になった。観光業への打撃と地域の過疎化も深刻である。要望だが、観光業者と観光議員連盟との意見交換の場も設けてほしい。

外国人の支援について

◆最近、外国人が増えているように感じる。特にベトナム人が多く、彼らは日本語を学ぶ機会が少ないため苦勞しているようである。

◇今後の課題であると認識している。

◆紅葉の時期の霧島神宮周辺では、マナーの悪いドライバーが多い。路肩に駐車したり道路の真ん中で写真を撮ったりして非常に危険である。注意喚起したり、臨時駐車場を設置してほしい。

◇同様の懸念をしている。適切に対応するよう要望していく。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

学校の統廃合について

◆人数の少ない学校だが、統廃合の相談を教育委員会にしたところ、まずは保護者、地域の意見を集約してほしいと言われた。しかし、保護者が地域住民と話し合いをしようとしたがなかなか進まなく困っている。

◇文教厚生委員会では先進事例を視察し、統廃合をした所、しなかった所のそれぞれのメリット・デメリットを研究中である。議論の参考となるような情報を提示していく。

療育支援について

◆診断書がないと療育機関を利用できない。診断書をもらうほどでは無くても気軽に利用できたらと思う。

◇特別支援や療育の希望が多く、受けたい人が受けられない実態があり、特に療育の診断無く特別支援も不要で通常学級に通っている児童については、日数を毎日(23日)から、程度に応じた制限がかかるようになった。学校の先生をサポートできる体制を考えていきたい。

意見交換での主な話題等